

深層インタラクション科学の社会実装

インタラクション技術バンク

概要

深層インタラクション総合研究所では、深層インタラクション研究の成果を社会実装し、心地よい未来を未来を創るために、インタラクション技術バンクを組織しています。ここでは、インタラクション技術バンクが進めている社会実装に向けた取り組みの概要を紹介します。

インタラクション技術バンクとは？

深層インタラクション総合研究所の研究開発成果として創出される「インタラクションコア技術」を外部の企業（ベンチャーから大企業まで）や大学・研究機関などに提供し、（協働・共同）研究開発によって社会にインパクトのあるアウトプットを行う組織です。いわゆるバンク（銀行）はお金を運用して育てる組織であるのと同様に、インタラクション技術バンクは「インタラクションコア技術」を運用して育てる組織なのです。

D2 人との触れ合い



人とロボットの
ソーシャルタッチインタラクション

D3 安心感を創る



モラル行動認識
モラルインタラクション
モラル認知

街角環境で人と共生する
インタラクション・ロボット

D4 行動の予測



ロボットサービスのための
人混みシミュレータ

ファミリーイナダ（株）様と
マッサージチェアを対象とした共同研究を実施

（株）タスカケル様・アジア太平洋トレードセンター（株）様
社会実装に向けた検討・共同提案を実施

社会実装

（株）SUBARU 様と
人と協調する自動車に関する共同研究を実施

（株）ATOUN 様・産業技術総合研究所 様と
歩行支援用パワードウェアの共同研究を実施

D8 運転する能力



安全で快適な運転のための
協調型運転支援

D10 歩く能力



歩行支援用パワードウェアのための
日常活動動作推定